

Monthly Report

 SENDAI UNIV.
PUBLIC RELATIONS

Vol.168 / 2020 .APR

Vol.169 / 2020 .MAY

(合併号)

本学初／オンライン入学式を挙



祝辞を述べる遠藤保雄学長

本学初となる、オンラインでの入学式を4月20日（月）に挙りました。

今年度の「令和2年度仙台大学 第54回体育学部 第23回大学院 入学式」は、新型コロナウイルス感染のリスクを考慮し、当初、4月3日に規模を縮小して行うことを予定していました。しかし、その後の感染拡大の動きをも踏まえ、4月20日に新生の健康と安全の確保の観点から、本学史上初のオンラインでの開催となりました。入学式では、遠藤保雄学長より、「皆さん入学おめでとう。これから体育・スポーツ健康科学を専門的に学ぶ皆さんにとって、この危機の事態に直面し、自分としてできることは何なのか、本学の学びの中で考えていく発想の展開が大切なのではないかと思ひます。今日から学ぶ4年間の大学生活を通じ、恐怖と不安を乗り越えて、未知の課題に取り組むこと、そして逞しく成長していくことを確信しています」と激励しました。

また朴澤泰治理事長・学事顧問は「皆さんは高校卒業まで用意されるのが当たり前と考えていた環境で、日々スポーツや体育に取り組んできました。それが今、屋外スポーツは使用禁止、集団トレーニングや対面での指導は禁止など、身体活動を行う場面が大きく様変わりしています。その結果、運動能力を向上させる為、あるいは競技実績を上げる為など、身体活動の方法自体を変更させなければならないという事態に遭遇しています。しかし、逆にそこがまさに勉学を専とする、体育スポーツ・健康科学の本質でもあります。新型コロナウイルスによるパンデミック来襲というこの自然界の挨拶に対して、答礼のパイオニアとして育てていただくべく、充実した学生生活を送ってもらいたいと思ひます」と祝辞を送りました。

新入生694人（体育学科345人・健康福祉学科110人・運動栄養学科81人・スポーツ情報マスメディア学科50人・現代武道学科51人・子ども運動教育学科35人・編入学生7人・大学院スポーツ科学研究科15人）が、入学を許可されました。

目次

・本学初／オンライン入学式を挙	1
・仙台大学柔道部誌/「萩と桜」が創刊されました ・自宅で出来るトレーニング動画を公開/トレーニングセンターより ・メンタルトレーニングのススメ/学生相談室より	2
・5月11日（月）遠隔授業が開始しました ・全学生へのiPadの貸与について ・「高齢者向け健康づくり運動」の動画を公開しました/スポーツ健康科学研究実践機構より	3
・伊達宗弘客員教授が仙台藩志会会長に就任しました	4
・たかがあそび。されどあそび。	5
・芝草通信 NO. 13	6 ～
・「高校スポーツの安全を守る」Vol.25 ・自宅でできるエクササイズを紹介しました/セベツ・アリーナ ・仙台大学附属明成高等学校の令和2年度ポスターが完成	8
・令和2年度 新入生紹介	9 ～ 12

学生の活躍や、取り組みなどをご存知でしたら広報室までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供して参ります。

本誌へのご意見・ご質問等がありましたら広報室までご一報ください。

仙台大学 広報室

直通 0224 - 55 - 1802

Email kouhou@sendai-u.ac.jp

仙台大学柔道部誌/「萩と桜」が創刊されました

このたび、令和2年3月仙台大学柔道部誌「萩と桜」が創刊されました。

4月をもって本学着任20年を迎えた南條充寿部長（現代武道学科長）が、これまでの20年の歩みやこれからの「回想」。また歴代部長の先生方や卒業生の方々による、当時のエピソードなどが紹介されています。



自宅で出来るトレーニング動画を公開/トレーニングセンターより

4月21日（火）仙台大学公式チャンネル（YouTube）にトレーニングセンターが作成した「自宅で出来るトレーニング」を公開しました。

仙台大学トレーニングセンターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を休止している生徒や学生の皆さんに役立てていただこうと、自宅で出来るトレーニング動画を作成しました。

30種類以上もの種目を以下の5つのジャンル（ダイナミックストレッチ、下半身トレーニング、上半身トレーニング、体幹トレーニング、持久力トレーニング）に分け、項目ごとに解説ムービーを添えてわかりやすく説明しています。

また、メニューをどう組み立てたら良いか参考にさせていただくために、『お試しプログラム』も準備しました。

この機会に、種目のやり方だけでなく、ウォームアップや筋力トレーニングに関する知識とノウハウを身につけ、今後の皆さんの活動に活かしていただければ幸いです。

<報告：トレーニングセンター S&Cスタッフ一同>



メンタルトレーニングのススメ/学生相談室より

4月24日（金）仙台大学公式チャンネル（YouTube）に学生に向けた「メンタルトレーニングのススメ」を公開しました。

学生相談室では、今回の新型コロナウイルス感染拡大による不安やストレスに対する心の持ち方や向き合い方について、参考となる動画を紹介しています。

この動画は、スポーツ心理学やメンタルトレーニングを担当している教員が作成したもので、「メンタルトレーニングのススメ」となっていますが、アスリートだけではなく、どの学生にも当てはまる内容です。ぜひご覧ください。

<報告：学生相談室>



5月11日（月）遠隔授業が開始しました

新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた本学の授業について、5月11日（月）からオンライン授業が開始しました。

遠隔授業は、文部科学省が授業方法その他、大学の運営方法について定めている「大学設置基準」、および具体的方法を示す告示（平成13年告示51号）に基づき、実施が認められた講義方式です。

その方式としては、「同時双方向型」（教員と学生とのやりとりを授業内で同時に行える）および「オンデマンド型」（教員から動画等で一方通行の授業を行う）の2つの方式が認められています。いずれも決められた時間帯に実施することを基本としますが、今回の新型コロナウイルス発生に伴い、更に、さまざまな弾力的運用が認められています。

本学では、両方の方式を併用することとし、「同時双方向型」では、Googleの[Classroom]や[Meet]等のソフトの利用をしています。

なお、学生の皆さんの新型コロナウイルスへの感染を第一に考え、当面、6月末まで遠隔授業を行う予定です。



授業の撮影を行う川戸湧也助教

全学生へのiPadの貸与について

本学では、6月末まで予定している遠隔授業の実施にあたり、学生のみなさんが統一した好環境で遠隔授業を受講して頂ける為に、5月19日（火）～5月25日（月）にかけて大学院生も含め全学生2579人にiPadを貸与しました。

●遠藤 保雄学長より

今回のiPadの全学生への貸与は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として遠隔授業を受講する学生の皆さんの受信環境の充実と支援という、今直面する課題の解決につなげることを大きな目的としています。同時に、現在の情報社会の中で活躍するための基礎力、すなわちICTリテラシーのノウハウを、このiPadを利用して学生の皆さんに身につけてもらいたいという、もう一つの目的があります。このことを踏まえ、新型コロナウイルスの問題が収束しても、学生の皆さんが卒業するまでiPadを貸与することとしました。

今後、授業や部活動などで十分に活用されることを期待しています。



「高齢者向け健康づくり運動」の動画を公開しました/スポーツ健康科学研究実践機構より

5月15日（金）仙台大学公式チャンネル（YouTube）に「高齢者向け健康づくり運動」を公開しました。

●仙台大学 スポーツ健康科学研究実践機構 健康づくり支援班より

現在、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため外出を控え、運動不足や友人との会話なども少なくなってきたのではないのでしょうか。緊急事態宣言が解除されても、油断できない状況が予想されます。

高齢者の方が運動不足になると筋力が低下し（とくに脚の筋力）、転倒・骨折する可能性が高くなります。また、コミュニケーション不足から認知症になる危険性もあります。

今回高齢者向けの運動動画を紹介いたします。内容は、頭の体操、ストレッチ、脚の筋力トレーニングで約15分となっております。インターネットや動画サイトに馴染みのない方も多いと思いますので、ご家族の方などに紹介していただければ幸いです。

ぜひ、ご自宅で実践してみてください。



後藤佳恩新助手



田中亨新助手

<報告：スポーツ健康科学研究実践機構 健康づくり支援班 田中亨・後藤佳恩>

伊達宗弘客員教授が仙台藩志会会長に就任しました

●仙台藩志会会長就任にあたって

私はこの4月、はからずも仙台藩志会会長を拝命した。

この会は、仙台藩祖政宗をはじめ歴代藩主の遺徳を顕彰し、歴史・精神・文化などについて研鑽し広く社会に貢献することを目的とし、戦前からの会も引き継ぎ昭和50年結成された会である。青葉祭り、仙台七夕など県内のイベントはもちろん、北海道、愛媛県、岩手県、福島県など旧仙台藩ゆかりの地や、慶長遣欧使節ゆかりのローマやメキシコなど様々な場所で、宮城のPRに大きな役割を果たしている。

また月一回のペースで一流の先生を講師に招き受講者を公募し、仙台や宮城の歴史や文化を多角的な面で捉えるとともに歴史探訪会なども行っている伊達学塾を開設している。そのほか学術的な色彩の強い「藩報 きずな」という会報を毎年2回発行し、広く配布している。とかく藩志会というと旧仙台藩士の子孫の集まりと思われがちであるが、趣旨に賛同している人を幅広く受け入れながら、大切な役割を担ってきた会である。「士を志」に変え、多くの人々に参加を呼びかけてきた会であり、いまだにその精神を引き継いで活動している全国唯一の会である。

知事や仙台市長や国会議員、国会議員、県議員、ゆかりのある都道府県の方々にもご参加いただいている。会員も各界で活躍されている方が多い。ご縁があって私も総会や伊達学塾で何度も講演をさせていただいてきた。

前任者は多数の著書があり数々の賞を受賞、日本物理学会会長を務められ、現在は財団法人新世代研究所理事長の日本の物理学会を代表する伊達宗行氏である。従兄とはいえ格が全く違うし、歴代会長もみなそうそうたる方々が務められてきた。

熟慮したすえ理事長に「メール」でご相談した。「引き受け頑張るように」との激励のメールをいただいた。もうやるしかない。

私は宮城県図書館長時代「二十二世紀を牽引する叡智の杜づくり」をテーマに事業を進めた。この趣旨は「次代を担う人たちに自信と誇りを持って語れる日本やふるさとの歴史や文化をしっかりと伝える。これがあって初めて堂々と生きることが出来た世界に伍して行くことができるのではないか」という思いからである。図書館に赴任した当時国指定重要文化財『坤輿萬國全圖』が一件指定されていただけであったが、図書館の職員の叡智を結集し、長い間に培ってきた全国の著名な学者の協力を得て、国・県指定文化財八千点を有する全国屈指の文化財を所有する図書館にした。文化庁の特段の配慮を受け京都国立博物館の修復施設を使わせていただき、国の文化財指定を前提にした修復事業を行う国宝修理装飾師連盟の高度な技術で修復作業を行い、あわせその修復過程を高精度のデジタル画像に収録、それを活用し多数のレプリカを作成した。

この事業は国のモデル事業にも指定され、これらのレプリカは学校や図書館、公民館などへ無償で積極的に貸し出し、直に目で見また手で触れていただき特に若い人たちの豊かな感性の涵養に大きな役割を果たしてきたと自負している。

今後は、前会長はじめ皆様の営々と積み重ねられた努力に恥じることはないように、今まで培ってきた経験、ノウハウと人脈をフルに活用し、仙台藩志会に若い人たちがさらに多く参加し、社会的に大きな役割を果たしていただけるよう環境を整えていくことが、これからの私に課せられた責務と考えている。

<報告：伊達宗弘客員教授>



伊達宗弘客員教授



年2回発刊している
「藩報 きずな」

たかがあそび。されどあそび。

今の世の中、新型コロナウイルスの影響から、社会全体が制限のかかった生活を余儀なくされています。

特に保育現場では、「三密」を避けるため、園内は換気をよくし、園での過ごしかたも、子ども同士が近距離で集まったり接触しすぎたりしないよう保育をすすめています。しかし、子どもたちはどうしてもくっついていきがちなため、いつも以上に目を離せない上、その度に注意しなければならないと聞いています。保育の現場は保育者も子どもも、普段なら注意されないようなことで叱られてしまうこと、また叱らないといけないことがストレスになっているようです。

ここ近年の幼児教育は、「自分に自信を持つこと」や「私はがんばれる」といった目標に向かって頑張る力、「もうちょっと頑張ろう」や「ちょっと我慢しよう」といった感情をコントロール力、「〇〇したら喜んでくれるかなあ」といった人とうまくかかわる力という気持ちや感覚を育み、身に付けることが、大人になってからの生活に大きな違いを生じさせるという研究成果が出てきているといわれています。これらの力は「非認知的能力（社会情動スキル）」といわれ、その心を育てるには乳幼児期に、大人との基本的信頼・愛着関係を築くことが基盤となり、「自分は愛されている」そして、「何かあれば助けてもらえる」といった自己肯定感を高める環境があるから育つのであって、今、避けられている「三密」が根底になっているといっても過言ではありません。

乳幼児期の運動あそびは、からだの育ちはもちろん、こころの育ちにも大きな影響を与えます。その中でも、人とかかわりを持ちながらあそぶ「仲間づくりあそび」は、運動を通して人間関係を築いていく社会性を育む要素が多く含まれています。

仲間づくりあそびには、人とふれあいながら「力をあわせる（協力する）」や「力を比べる（競い合う）」といった動きをおこなうあそびがあります。例えば、力をあわせる「なべなべそこぬけ」では、相手とリズムや力を合わせたり、力を比べる「背中ずもう」ではどっちの力が強いかを競い合います。これらのあそびを行うと、最初の頃は、相手と上手く力合わせが出来ずに力の加減が分からず腕を無理やり引っ張ってしまったり、力比べでは強く押しすぎて相手に痛い思いをさせて喧嘩になったりといったトラブルがよく起こります。「勝ちたい」という気持ちが強すぎると相手の気持ちを思いやる前に自分の力を100%出してしまい、その結果、相手に嫌な思いをさせる。しかし、その失敗がいろいろなことに気づき、今度は加減をしようとか、自分の力を相手に合わせて調節することが出来るのです。人を思いやるころは大人がすべてを教えるのではなく、日々の友達や保育者とのかかわりの中で、子ども自身が、他者の存在や思い、ルールの必要性などに気付いていくプロセスを経験し、そのプロセスを援助していくことが大人の役割であると考えます。



今、この経験する環境が子どもには不足しています。今だから経験できること、今しか経験できないこと。大人も含め、子どもたちに早く当たり前に「群れてあそぶ」ことが出来る平穏な日常に戻って欲しいと願います。

<報告：原田健次 教授>

5月、6月の芝生管理（暖地型芝生と寒地型芝生）について

この時期の維持管理は新葉が伸び始め、生育に合わせて刈り込みを行います。

*自宅などの芝生の参考にもしてください。

1. 噴水まわりの天然芝生の維持管理（暖地型日本芝生）

連休明け頃から高麗芝の新葉も出てきますので、一面が休眠中の白っぽい色から少しずつ緑色に変化してきます。匍匐茎が周辺に伸び始め、節目ごとに根を下ろすと共に、上に向かって直立系が伸びます。この繰り返しを行い、長い物は50cm以上にもなり匍匐系が裸地を埋め尽くします。雑草との区別が色の違いで分かり易い今のうちに除草しておくとお得です。

- ①刈り込み：月1回または2週間に1回行います。
- ②水やり：普通は必要ありません。しかし芝張を行った後や補修の後で、降雨が期待できない時には、乾燥を防ぐために水やりを行います。
- ③肥料：化成肥料（N-P-K=10-10-10）を1㎡当たり20g程度施します。
- ④病虫害防除：葉に淡黄色の斑点ができるさび病が発生することがあります。一時的なもので、芝が枯れてしまうことはありませんが、定期的な刈り込みを行って、芝が蒸れないようにして防除しましょう。
- ⑤草取り：裸地や密度の薄い部分には雑草が生えやすいので、早めに除草します。

1B. 噴水まわりの天然芝生の出穂（しゅっすい）状況

高麗芝が出穂すると緑の芝草は、こげ茶色の穂が一面に現れてくるので、成長する前に刈り込みを行う。常温では発芽しにくいので一般的には高麗芝は栄養繁殖で造成している。芝生産地では栄養繁殖で密度が濃くなった芝生を厚さ5cm位に切り込んだ芝生をソッド状態にして出荷している。切り取った芝生の表面に目土（目砂）を施して施肥などの維持管理をして再度芝草を生育させて次の出荷に合わせている。珍しい例として京都府立桂高校（農業系）は小型な特殊温室で高麗芝生の種子繁殖を実現させている。



写真 1. 噴水周り芝生 4体前【接写】出穂状況（こげ茶色の穂）



写真 2. 噴水周り芝生 4体前【遠景】出穂が多くなり焦げ茶色に変化している

2. 第二グラウンド天然芝生ラグビー・アメリカンフットボール場の維持管理（寒地型洋芝＋ 暖地型洋芝）

- ①刈り込み：寒地型芝生が生育し始めたら3日～5日に一度くらい行います。
- ②水やり：施肥の後に十分に行います。寒地型洋芝には乾燥が続くときは散水が必要になります。
- ③肥料：気温の上昇を観察しながら化成肥料（N-P-K=10-10-10）を1㎡当たり20g施します。単価の安い粒状の肥料を施すので降雨の前に施肥します。粒肥が溶ける前に芝刈りを行うと草刈り機に巻き込むので、施肥と草刈りのタイミングを計って実施します。
- ④病虫害防除：シバツトガの飛来を注意して観察し、幼虫を見つけたら殺虫剤の散布タイミングを図る。孵化を繰り返して幼虫が大きくなるので、幼虫の太さがマッチ棒より細い1令の時は食害も大きくないので様子を見て、マッチ棒の太さの2倍くらいに成長した4～5令になったころ合いを図って殺虫剤を散布する。

4月号に予告した通り寒地型芝草の播種作業を4月6日～9日までに実施した。その作業を写真で説明する。全面を4分割してトールフェスク2種類、ペレニアルライグラス2種類を播種した。養生期間は3週間必要。

- ① サッチ除去A：バーチカルカット機械により深さ2～5cm位に切り込みを入れてサッチを浮き上がらせる。
- ② サッチ除去B：スイーパー機械により浮き上がったサッチを除去する。
- ③ 播種作業：専用シーダー機械により均一に播種する。
- ④ 目砂散布：専用砂散布機械により均一に散布する。
- ⑤ 転圧：軽いローラーにより目砂の不陸整正と刷り込みを行う。
- ⑥ 水やり：種の発芽促進のためにほぼ毎日行う。
- ⑦ 施肥：生育促進のために化成肥料を20g/m²程度散布する。



写真 3. 第2グラウンド天然芝生【全景】
4月上旬の気温がまだ低く発芽が少ない



写真 4. バーチカルカット機械（外注）【近景】
トラクターの後にバーチカルカットアタッチメントを取り付けた専用機械による芝草の根切やサッチの掘り起こし状況



写真 5. スイーパー機械（保有）【近景】
左側奥のバーチカル機械で起こした刈りカスなどを吸い込んで掃除する



写真 6. 3連乗用リールモア（保有）【近景】
2台の機械操作で葉先の不揃いを調整するために草刈りを実施



写真 7. パイプシーダー（外注）【近景】
多数の突起の付いた30cmくらいのドラムを振動させながら牽引し、地表面に穴を明けその上に種子を散布していく。



写真 8. 目砂散布機械（保有）【近景】
タイヤシャベルで積み込んだ目砂をホッパーの底部にあるベルトコンベアで後部吐き出し口に送り込み均一に散布する。

(5月26日記)



新型コロナウイルスの影響で新学期の予定がずれ込み、部活動もなかなか例年のようにはできない状況が続いています。通常であれば、部活動登録が終わり正式に新一年生が入部し、6月の高校総体に向けて各部活が日々の練習に励んでいる時期です。いつもとは違った新学期のスタートに少し戸惑いつつも、川平ATルームでは活動休止期間中に筋力を落とさないようにオンラインでのトレーニング指導を行ったり、安全かつ適切に部活動再開するためのガイドライン作成をしたりしています。不活動期間が長ければ長いほど、活動再開後の外傷・障害リスクは高まります。最近では気温も上がり、梅雨の時期になれば湿度も上がるので熱中症には要注意です。特にこの不活動期間中は思うように運動できずに体力や筋力が落ちてしまった人が多くいると思います。そのように体力・筋力が落ちてしまった選手たちが安全に安心して活動再開できるよう、感染症予防はもちろんですが怪我や熱中症の注意点もふまえて、川平ATルーム利用者に向けてのガイドラインを作成していきたいと思っています。

現在は誰も経験したことがないこの状況で、人それぞれ沢山のストレスを抱えています。高校生アスリート達も、いつものように学校へ行き友達との会話を楽しむ機会が減ったり、思うように体を動かせなかったりと、かなりのストレスが溜まっていると思います。今後徐々に学校を再開していくにあたり、生徒たちには普段健康に過ごし、スポーツを楽しむことができる環境がどれだけ幸せなことかを感じて欲しいと思います。これからは生徒たちの心と体が健康な状態であることが今まで以上に大切になってきます。私たち川平ATルームでは生徒たちが今何を必要としているのか、状況に合わせてどのようにして彼らをサポートしていくべきなのかを常に考えながら活動していきます。

自宅でできるエクササイズを紹介しました／セベツ・アリーナ

本学が招聘し、ベラルーシ新体操チームを応援することを目的として、白石市・柴田町の東京オリンピック・パラリンピックホストタウン親善大使であるセベツ・アリーナさんが、自宅でできるエクササイズを5月20日（水）仙台大学公式チャンネル（YouTube）に公開しました。

アリーナさんは、ベラルーシ国立体育・スポーツ学院のフィットネスの指導者です。是非みなさんもチャレンジしてみてください。



仙台大学附属明成高等学校の令和2年度ポスターが完成

令和2年4月1日より「明成高等学校」から

「仙台大学附属明成高等学校」

になりました。



令和2年度 新任者紹介

教員14名 事務職員4名 新助手8名 臨時職員6名 計32名の皆さんが着任いたしました。

教員

<p>ちだ たかひこ 千田 孝彦 教授 (英語)</p> 	<p>スポーツに取り組む活気溢れる学生達と共に学びあえる機会を再び得ることができて、感謝と責任の重さを実感しています。これまでの高等学校等での教育経験を活かして、学びの大切さと成長への手助けをしたいと思います。</p>	<p>たぐち なおき 田口 直樹 講師 (体育原理・トレーナー)</p> 	<p>スポーツ現場や教育現場で経験したことを活かし、学生のみなさんとともに様々な活動にアグレッシブにそしてポジティブに取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。</p>
<p>さとう おさむ 佐藤 修 教授 (スポーツ報道)</p> 	<p>37年間東北放送でスポーツの現場におりました。日々、実況中継・取材・インタビュー・言葉・表現・番組制作のことを考えていました。学生の将来の選択肢に放送が加わるよう、その魅力を伝えたいと思ひます。</p>	<p>いのうえ のぞむ 井上 望 講師 (野外活動)</p> 	<p>大自然に囲まれた仙台大学で野外教育・研究ができる事を嬉しく思っております。年齢問わず体験を共にできる野外活動を通して、学生・教職員の方々と交流できればと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。</p>
<p>さくらい まさひろ 櫻井 雅浩 教授 (心臓血管外科医)</p> 	<p>24年心臓血管外科の臨床に携わった後、7年の保健行政に関わってきました。さらに臨床研修指導医として研修医の学術支援を行ってきました。これらの少し変わった経験を学生の皆さんに伝えられたらと思ひます。</p>	<p>ライ イテイ 頼 羿廷 講師 (大学院)</p> 	<p>2006年の夏に交換留学生としてお世話になっていました。本年度から、この思い出深い仙台大学に講師として着任いたします。本学の教育の質の向上に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>うじいえ やすひろ 氏家 靖浩 教授 (人の心と行動)</p> 	<p>障害や病気の方の心の支えについて心理・教育・医療の多次元から究明を進めてきました。スポーツの役割の大きさも痛感します。私的にはプロ野球・千葉ロッテと高校野球のファンです。よろしくお願ひします。</p>	<p>かたおか はるひ 片岡 悠紀 講師 (バレーボール)</p> 	<p>スポーツ実践で直面する困難に立ち向かい、課題解決した成功体験と一緒に味わいましょう。スポーツの価値や楽しさを正しく伝えていけるリーダーを育成できるように、学生と真正面から向き合い、成長していきます。</p>
<p>しらはた まき 白幡 真紀 教授 (教職担当)</p> 	<p>教職科目を担当します。「学ぶこと」と「働くこと」の接続に関わる支援を中心に、イギリスの教育政策を研究しています。皆さんと一緒に学ぶのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	<p>かはた みどり 加畑 碧 助教 (新体操)</p> 	<p>仙台大学の新体操競技部は大学部活動としては東北で唯一の存在です。そのコーチとして携われることを大変うれしく思ひます。競技活動をはじめ、仙台大学の教育に広く貢献していけるよう、努めてまいります。</p>

助手

<p>この さくら 今野 桜 助手 (AT)</p> 	<p>昨年12月より新助手として川平A1ルームで勤務をさせていただいておりましたが、今年度より助手としてお世話になることになりました。学生アスリートがより良い部活動生活を送れるよう全力でサポートしていきます。</p>
<p>ながやま ひなこ 永山 陽奈子 助手 (AT)</p> 	<p>4月1日より仙台大学のATルームで勤務しております永山陽奈子です。大学で働くのは初めてですが、少しでも学生が安心して部活動に参加出来るよう、また大学の発展に貢献できるよう努めて参りますので何卒よろしくお願ひ致します。</p>
<p>やまだ ひろみち 山田 大進 助手 (運動栄養)</p> 	<p>昨年度まで新助手として4年間勤務し、現在はベガルタ仙台へ管理栄養士として出向しております。現場での経験を積むと共に、「支えるスポーツ」における知見の発展へ、貢献できればと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>すがわら まり 菅原 麻莉 助手 (運動栄養)</p> 	<p>昨年度まで新助手として勤務しておりましたが、今年度より助手として任用となりました。在仙プロ球団での栄養支援経験を大学に還元できるよう日々精進してまいりますので今後ともご指導の程よろしくお願ひ致します。</p>

職員

<p>かめだ しど 亀田 志努 職員 (総務室)</p> 	<p>30年振りに古巣に戻ってきました。学生から職員へと立場は変わりましたが、昨年まで明成高校で体育教員をしておりましたが、病気の関係で継続が難しくなり、こちらでお世話になることになりました。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>みうち るみ 三浦 瑠美 職員 (機構)</p> 	<p>昨年度の8月から臨時職員として勤務し、改めて今年度より職員としてスポーツ健康科学研究実践機構に勤務させていただきます。仙台大学と地域の架け橋となるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>いのべ つよし 伊野部 剛史 職員 (営繕管理室)</p> 	<p>営繕管理室勤務。専門：音楽。大学に吹奏楽・マーチングバンド部を作ることで関西より来ました。大学はもちろん地域にも愛されるバンドを作っていきたいと思ひます。20年間幼保の現場で勤務した経験を活かし、学生に関わっていきたいと思ひます。</p>
<p>さとう かずひろ 佐藤 一拓 職員 (同窓会事務室)</p> 	<p>本大学の第12回生です。この3月、仙台市立中学校を定年退職し着任しました。講師・現役時代の大学・同窓会の支援に感謝し、僅かでも恩返しがあればと考えております。</p>

新助手

<p>くろさわ りょう 黒澤 怜 新助手 (大学GT・サッカー)</p> 	<p>臨時職員時から実践機構で勤務し女子サッカー部のコーチも兼務させていただきましたが、今年度からは明成高校の授業も兼務させて頂くこととなりました。 仙台大学と明成高校の発展に尽力していきたいと思っております。</p>	<p>たかはし りんたろう 高橋 麟太郎 新助手 (大学GT・バスケ)</p> 	<p>明成高校と仙台大学は私の母校であり、そこで働かせていただけることをとても光栄に思います。 新社会人として、様々なことに挑戦し、多くのことを吸収したいと思っておりますのでご指導の程よろしくお願い致します。</p>
<p>いがらし りゅう 五十嵐 竜 新助手 (大学LR・剣道)</p> 	<p>今年度より新助手として勤務させていただくことになりました。明成高校での勤務、大学剣道部の指導をします。明成高校と仙台大学の発展に貢献できるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。</p>	<p>ほしな かいと 保科 魁斗 新助手 (大学GT・ウエイトリフ)</p> 	<p>今年度から仙台大学新助手として勤務させていただきます保科魁斗です。ウエイトリフティング部の競技力向上。仙台大学の発展に大きく貢献していけるよう精一杯務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>おざわ ゆう 小澤 悠 新助手 (大学LR・卓球)</p> 	<p>今年度から新助手(大学LR)として勤務させていただきます。 今まで高校講師として働いてきた経験を活かし高校業務、大学卓球部指導を精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお願ひします。</p>	<p>うつみ ゆりか 内海 友里夏 新助手 (大学GT・運動栄養)</p> 	<p>今年度より運動栄養学科の新助手として勤務させていただきます。学生生活での経験を活かしながらも、日々の業務から多くのことを学び、仙台大学に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願ひ致します。</p>
<p>みうら はやと 三浦 駿都 新助手 (大学GT・食文化創志科)</p> 	<p>本年度より新助手として勤務させていただくことになりました三浦駿都です。 母校である、仙台大学と明成高校の高大接続教育を円滑に実施できるよう精進して参ります。よろしくお願ひいたします。</p>	<p>さとう まなみ 佐藤 愛美 新助手 (大学GT・運動栄養)</p> 	<p>今年度より運動栄養学科の新助手として勤務させていただきます。大学職員として学生と真剣に関わり、また、仙台大学の発展に貢献できるよう誠心誠意努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。</p>

臨時職員

<p>さこい ゆうと 迫井 優人 臨時職員 (学生支援室)</p> 	<p>今年度より、学生支援室で勤務させていただきます。迫井優人です。本学の学生、留学生の学生生活がより良いものになるよう全力でサポートしていきたいと思えます。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。</p>
<p>さかい じゅんのすけ 酒井 純之介 臨時職員 (学生支援室)</p> 	<p>学生がよりよく学校生活を送れるように、全力でサポートしていきます。至らない点が多々あると思えますが自分らしく頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。</p>
<p>みしな りえ 三品 理恵 臨時職員 (学生支援室)</p> 	<p>今年度から学生支援室で働かせていただくことになりました。三品理恵と申します。学生が楽しい大学生活を送れるように精一杯サポートしていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>たんの しほ 丹野 詩穂 臨時職員 (学生支援室)</p> 	<p>学生支援室で勤務させていただくことになりました。学生に寄り添い、充実した大学生活を送れるよう支援していき、職員として大学に貢献できるよう努めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願致します。</p>

<p>かの 鹿野 あかり 臨時職員 (機構)</p> 	<p>今年度より、スポーツ科学研究実践機構に勤務させていただきます。一つ一つの業務をこなし、一日でも早く仕事を覚えていきたいです。至らない点も多々あるかと存じますが、ご指導の程宜しくお願い致します。</p>
<p>ふなき りな 船木 里奈 臨時職員 (明仙フィールド川平)</p> 	<p>今年度より仙台大学川平キャンパスで勤務させていただきましたことになりました。船木里奈です。初めてなことがたくさんあり、覚えることもあります皆さんになるべく迷惑をかけないように頑張っていきます</p>